


# 腱板断裂修復術を受けられる患者さんへ

患者ID \_\_\_\_\_ 患者名 \_\_\_\_\_  
 主治医 \_\_\_\_\_ 担当医 \_\_\_\_\_ 受持看護師 \_\_\_\_\_

	手術当日（帰室してから）	術後1日目	術後2—6日目	術後7—12日目	退院
目標	装具の必要性が理解でき、きちんと着けられる。 安静を守ることが出来る。 鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。	装具の必要性が理解でき、きちんと着けられる。 歩くことができる。 鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。	装具の必要性が理解でき、きちんと着けられる。 鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。		日常生活の注意点を理解して、生活が自立しておくことができる。
治療処置		術後1日目から創の消毒が始まります。		術後7日目に抜糸します。	
点滴内服薬	持続的に点滴をします。	点滴は午前中には終了します。 朝より、手術前に飲んでいた薬を再開して内服します。		薬剤師が自己管理に向けて薬剤指導を行います。	退院に向けて薬剤師が内服薬の説明や服薬方法などについての薬剤指導を行います。
検査			手術後、6日目に採血、レントゲンの検査があります。		
リハビリ		リハビリ室で訓練を開始します。	日曜日・祭日のリハビリはお休みです。 個人で病棟で頑張りましょう。		
安静度	安静のために外転装具をつけます。 麻酔からしっかりと覚醒できれば、歩行する事もできます。	外転装具をつけて動く事が出来ます。			
食事	手術より3時間後から水分摂取開始できます。 むせ込みがなければ軽食も可能です。	朝、お腹の動きが良ければ(ガスが出れば)水分を摂ったり、食事ができます。			
清潔		看護師が体を拭きます。	術後2日目からシャワーを浴びることができます。看護師が外転装具の着脱指導をおこないます。		
排泄	手術室より、尿の管が入って帰ってきます。 麻酔からしっかり醒めていれば尿の管を抜いてトイレに行けます。	尿の管が抜けてトイレに行けます。			
説明	医師より手術についての説明があります。			術後7日目に退院や転院の方向性について主治医からの説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。 ・整容(髪をとかす・洗顔ができる・歯磨きができる・衣類を整える) ・トイレ動作が獲得できているか ・装具が装着・脱着できるか ・転倒が予防できるか	